

令和7年度までに実施する被害の軽減、 早期復旧・復興のための取組 ～一部事例紹介～

令和7年3月13日

第8回 吉野川流域治水協議会

- 第12回 吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会
- 第12回 吉野川中流大規模氾濫に関する減災対策協議会

■被害軽減、早期復旧・復興のための対策

- 「**水害リスク情報**」のさらなる充実、住民目線に立った避難行動につながる「**情報発信の強化**」や防災エキスパートから分かりやすく学ぶ「**防災出前講座**」の実施により、「**逃げ遅れゼロ**」の実現を目指す

＜水害リスク情報空白域の解消＞

- ・全ての県管理河川で洪水浸水想定区域図を「作成・公表」

R6.4:152河川公表 R7出水期前：280河川公表



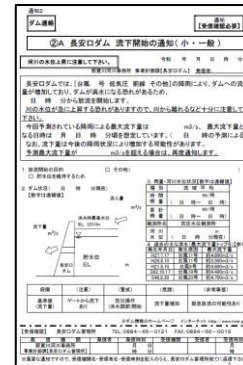
＜防災出前講座の実施＞

- ・避難の実行性を高めるため、V R 動画等を活用した水害についての基礎知識の学習やファミリータイムラインの作成を支援



＜住民目線に立った情報発信＞

- ・ダム放流開始の通知
徳島県公式LINEによるPUSH型配信



＜住民への周知・啓発＞

- ・住民へ広く周知・啓発するため、商業施設でのパネル展の開催やパンフレットを作成



パンフレット



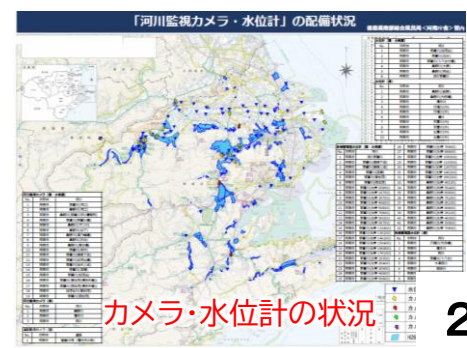
■水災害に関する減災会議

- 能登半島豪雨をはじめ「激甚化・頻発化」する水災害の教訓を踏まえ、避難情報を発信する市町村とあらかじめ「避難判断」に関する「防災情報」を互いに共有し、住民の確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取り組む

- ・日 時：R6.12.24
- ・参加者：国土交通省・徳島県・24市町村
- ・内 容：①吉野川・那賀川の水害リスク
②中小河川の「緊急点検結果」の報告
③中小河川の「洪水浸水想定区域図」の活用
④「河川監視カメラ・水位計」の配備状況
⑤「土砂災害警戒区域」の新たな指定に向けた基礎調査の実施
⑥「土砂災害警戒情報」の発表対象区域の見直し
⑦受信側から見た「SNS情報発信（ダム放流）」

→ 市町村長からの要請

- ・水害リスクマップ（浸水頻度図）の作成
- ・土砂災害警戒区域の指定状況をPR
- ・河川監視カメラの増設
- ・河道掘削、樹木伐採の実施



■被害軽減、早期復旧・復興のための対策

○「**水害リスク情報**」のさらなる充実、住民目線に立った避難行動につながる「**情報発信の強化**」や
防災エキスパートから分かりやすく学ぶ「**防災出前講座**」の実施により、「**逃げ遅れゼロ**」の実現を目指す

＜水害リスク情報空白域の解消（継続）＞

- ・全ての県管理河川で
洪水浸水想定区域図を「作成・公表」
- **全ての河川で公表**
- **市町村が作成する「ハザードマップ」に対して
「財政・技術支援」(新規)**

＜防災出前講座の実施（継続）＞

- ・避難の実行性を高めるため、
V R 動画等を活用した水害についての基礎知識の学習
ファミリータイムラインの作成を支援

＜水災害に関する減災会議（継続）＞

- ・「激甚化・頻発化」する水災害の教訓を踏まえ、
市町村と「避難判断」に関する「防災情報」を共有
確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取り組む

＜住民目線に立った情報発信（継続）＞

- ・ダム放流開始の通知
徳島県公式LINEによるPUSH型配信
- **県民に迅速・確実に伝えるため、
「自動発信機能」を構築(新規)**
- ・河川監視カメラ、水位計の情報提供

＜住民への周知・啓発（継続）＞

- ・住民へ広く周知・啓発するため、
商業施設でのパネル展の開催やパンフレットの配布

＜特定都市河川の指定に向けて（継続）＞

- ・特定都市河川の指定を見据え
流域治水の勉強会や協議会を開催

